



石川県立七尾高等学校

NSH News

いしかわニュースーパーハイスクール推進室

4・5月号

みなさん、こんにちは。昨年度に引き続き、今年も「NSH News」を約2カ月に1度のペースで刊行します。文系フロンティアコースの生徒の様子や日々の学習内容をお伝えします。

第1号は、新年度に入り新しくスタートした1・2年生のB探究とSpeak Outについてご紹介します！

B 探究

B探究では、研究に必要なテクニカルライティングやポスター、スライドの作成方法や調査・実験・分析方法等の探究スキルの習得を行います。そして、各グループで課題研究のテーマを設定し、その課題解決に向けて、必要な情報を収集および分析し、調査した結果についてまとめていきます。

この探究活動を行うことにより、将来社会に貢献できる人材となるために必要な論理的思考力、創造性、独創性、探究力を育成します。さらに、研究成果をまとめて発表することにより、表現力を養うことができます。

11Hでは、テクニカルライティングの一環として、村上陽一郎編「コロナ後の世界を生きる」を読んで、レポートを書き始めました。21Hでは、1年次から継続しているビジネスプラン作成に関わる学習活動の一環として、日本政策金融公庫より棚橋隆博氏、七尾商工会議所より中村史人氏、のと共栄信用金庫より浜田和明氏をお招きしてお話を伺いました。様々な方との交流を通して、よりオリジナリティのあるビジネスプランの完成に向けて懸命に取り組んでいます！



Speak Out

Speak Outでは、地球規模のテーマの題材を英語で読み、聞き、話し、書くことで英語の4技能を高めます。ALT2名と日本人英語教員3名の合計5名で授業が行われるので、生徒は一人ひとりきめ細やかな指導を受けることができます。

11HはグループごとにSDGsについて学び、世界の問題の現状について英語でディスカッションをしています。今後は、各グループで学んだことをプレゼンテーションでクラスメイトに伝える予定です。

21Hでは、各国の経済、社会、健康、旅行など多様な課題について学ぶことで、文化間意識を高めることを目標にしています。文化間意識とは「互いの文化を意識して理解する」という意味で、グローバル化する社会の中でどのように交流し、共生し、学習し、仕事をしていけばよいのかについて深く考える授業をしています。

難しい内容ですが、その分思考力がしっかりと身につく授業になっています！



石川県立七尾高等学校 NSH(いしかわニュースーパーハイスクール)推進室

〒926-0817 石川県七尾市西藤橋町工1-1
TEL : (0767) 52-3187 FAX : (0767) 52-6101
ホームページURL :

https://cms1.ishikawa-.ed.jp/nanafh/%E2%97%8FNSH%E4%BA%8B%E6%A5%AD/pag_20201020001122

HP

